

令和4年度（2022年度）事業報告

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

令和4年度の当財団法人が実施した事業概要は下記の表のとおりである。

長く続いたコロナの影響が徐々に薄らぎ、海外に関する事業が動き始めた。

主たる事業である研究助成では、通常の研究助成が78件、また多施設共同研究助成は5件の応募の中から、「研究助成」40件、「多施設共同研究助成」新規2件、継続4件と、例年並みの総数46件を助成した。「海外短期留学助成」は4件、コロナ禍が収まりつつあった年度後半に一気に進捗した。

「顕彰」は4件、全国的な規模のライブセミナーに対して行う「研究会助成」は8件の助成を実施した。

また、海外関連助成事業である「海外研究医受入助成」は昨年の0件から7件、「海外派遣助成」は昨年の0件から11件と増加した。

その他の費用では、3年ぶりに贈呈式を開催しほぼ計画通りとなっている。

以上、当年度も計画に基づき着実な運営を行ったもののコロナの影響が残り、海外関連助成事業を中心に未消化が発生し、計画5,140万円に対し合計で4,263万円、予算執行率83%となった。

【内容】

提 要	金 額	備 考
1.定款第4条(1)の事業	2,700万円	内視鏡医学研究に対する研究助成 研究助成(A) 2件 研究助成(B) 38件 多施設共同研究助成(新規) 2件 多施設共同研究助成(2年次分) 2件 多施設共同研究助成(3年次分) 2件
	200万円	海外に短期(2-3ヶ月)で留学する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外短期留学助成 4件
2.定款第4条(2)の事業	200万円	内視鏡医学研究に功績があった者に対する顕彰 4件
3.定款第4条(3)の事業	240万円	内視鏡医学に関する研究会の振興に対する助成 研究会助成(1件 30万円) 8件
4.定款第4条(4)の事業	270万円	内視鏡医学研究のため来日する海外研究医に対する助成 内視鏡医学海外研究医受入助成 7件
5.定款第4条(5)の事業	260万円	内視鏡医学研究のため国際学会に参加する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外派遣助成 11件
6.その他	393万円	助成事業に関連する会議費 選考委員会及び贈呈式等開催費用
合 計	4,263万円	